



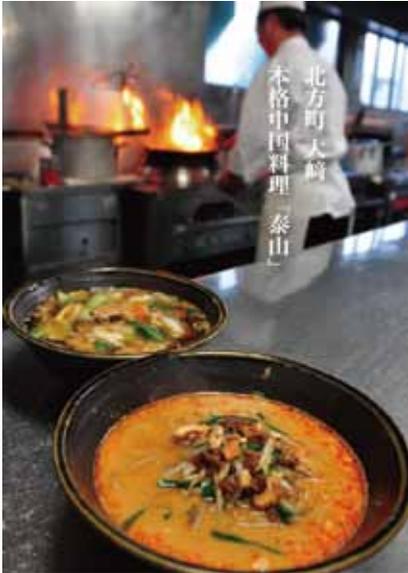
▲名物スタッフの徳永さんは3月からの新メニュー「菜の花ラーメン」を手に熱烈アピール。「ぜひ食べに来て下さい!」

忙しすぎて

嬉しい悲鳴です

12月号で、個性的なスタッフの表情とともにお伝えした中華料理のお店「泰山」。本誌掲載直後の週末に早くも「市報を見て来た」というお客さんが続出したそうで、その次の土日にはほぼ満席となるほどの大盛況になったという。

スタッフの徳永さんは「市報を見たという事で、北方周辺以外からも新しいお客さんがいらっしゃるようになりました」と話していた。



▲12月号では担々麺などの人気メニューをご紹介。あっさりしているが深い旨みを感じられる味にリピーターが続出している

売り上げ100%増!

この日は3月にデビュー予定の「菜の花ラーメン」を試食させていただいた。滋味豊かなスープが絶妙にからむちぢれ麺、そしてほのかな苦みのある菜の花が全体を引き締めていて、まさに春の初々しさを感じさせる一品。

平日ランチ値下げなどの新たなサービスも展開中とのこと。今後も要チェックである。

本格中国料理 泰山

武雄市北方町大字大崎4915-5

☎0954(36)5001

営業時間 昼11:30~14:30

夜17:00~21:00

火曜定休

TAKEO RECOMMEND REVIEW

市外・県外客が

200%UP!

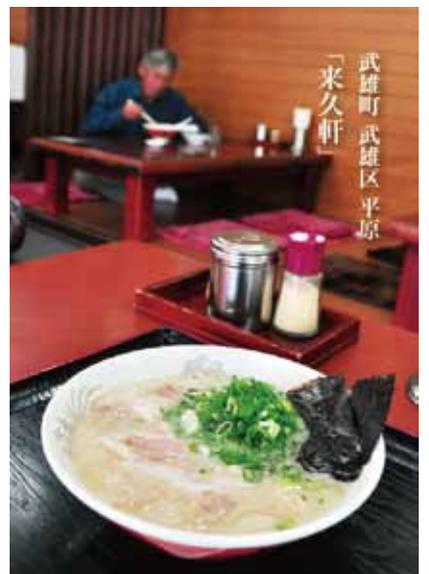
「知名度が上がって、プレッシャーも大きいです。でも、それがこの仕事の醍醐味でもあります」と力強く語るのは、1月号で紹介した「来久軒」の店主、奥安弘さんだ。

これまで圧倒的に常連客の比率が高かった「来久軒」だが、市報掲載後は市外や県外からも新しいお客さんが訪れるようになったという。スタッフがお客さんから声をかけられる事も増えたそうだ。

昼は毎日来久軒!

(65歳男性・西川登町)

さて、味も具材も変わっていない



▲1月号の誌面。写真では湯気や香りが伝わらないのが残念。ぜひお店でその味を五感で堪能してほしい

れない。

「何か別の旨さを感じるところが「来久軒」のラーメンの懐の深いところ。一気に食べてしまった後で店内を見回すと、常連と思いきとお客さんたちが無言でラーメンをすすっている。人は本当に美味しい物を食べる時、言葉は要らないのかもしれない。」

あるお客さんは、「とにかく飽きがない。もはや来久軒でラーメンを食べるのが生活の一部みたい」と笑顔で話していた。ラーメン店という業種は競争が激しく、またお客さんの舌も肥えている。

「これからも誇りとプライドを持ってラーメンを作り続けまます」と言う奥さん。長年地元で愛され続けている店には、やはりお客さんを引きつける確かな理由がある。



▲「常連さんと新しいお客さんのどちらにも満足してもらえる店に」と語る店主の奥安弘さん

来久軒

武雄町大字武雄4190-2

☎0954(22)2522

営業時間 11:00~22:00

月曜定休(祝日は営業)